

ENIGMAとアドレスV125K9/L0/V125SLO（ECU）の接続方法 ブルトウース版

取り付け作業は安全な場所で正しく行って下さい。基本的なアドレスV125の整備知識が必要です。
サービスマニュアルに従ってECUと配線が作業できるようにカウルなどを取り外して下さい。
ノーマル車両の前面カウルを取り外すと正面やや右下にECUが差し込まれて固定されています。

ECUに繋がっている26ピンケーブルを外し、配線を加工してENIGMAを割り込みさせて下さい。
ENIGMAは近くに取り付けてください。

ケーブル側の配線にENIGMA配線を**割り込み接続**します。

（割り込み接続とはノーマルの配線を切断せずに分岐する様に接続する事です）

割り込み配線接続はエレクトロタップを使用しないで下さい。接続トラブルが多く

ENIGMAの動作に問題がおこります。（ハンダ付け等での作業が信頼性が向上します。）

●基本的にENIGMAから出ている配線色と接続する車両の配線色は同じかもしくは近い色になっています。
下記の図を良く見て正しく接続して下さい。全部で7本です。

ムラサキ線はサービス出力線なのでECUには繋ぎません。

※ ECUの16番端子（赤／白）線は切断せず割り込みで接続してください。

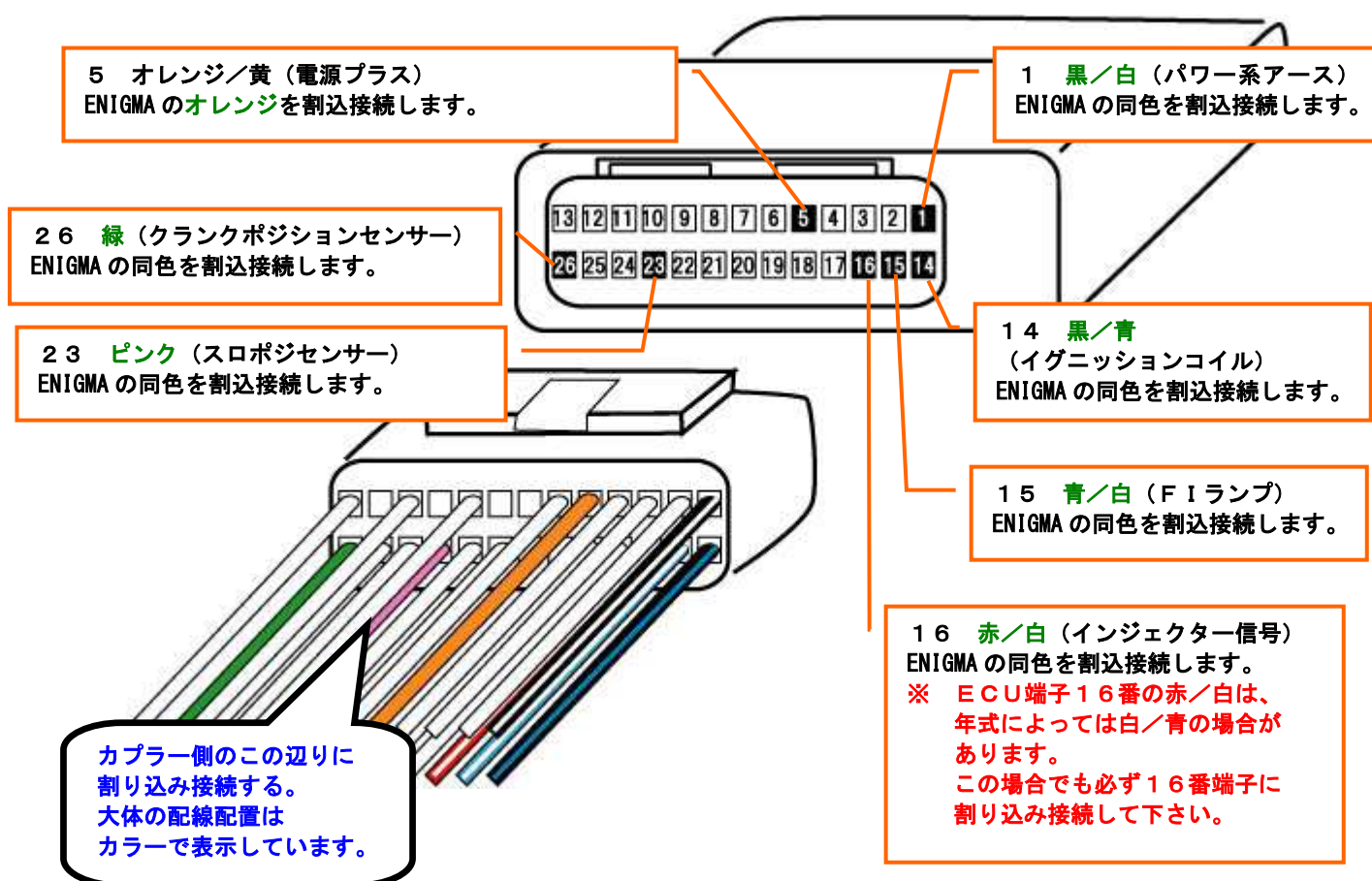
※ 5番端子はオレンジ／黄線ですが、ENIGMAのオレンジ線と接続してください。

※ **配線の根元からの水の入るのを防止するため、配線側を下にして設置してください。**

■アドレスV125K9/L0用ENIGMAにアドレスV125K5/K7は点火方式が違うため接続できません。また接続するとENIGMAが壊れますので絶対に接続しないでください。

■アドレスV125用ENIGMAではディスチャージインジェクターのため燃料の減量はできません。

- 下図を良く見て配線位置など間違わないように作業してください。



■ ECU端子で繋ぐのは1、5、14、15、16、23、26の7箇所です。上図で良くご確認下さい

■ ムラサキ線はサービス出力線です。ENIGMAはクランク1回転に1回、5Vを出力します。市販の殆どのデジタルタコメーターなどに対応します。この線に繋がれば正確な値が表示される等色々な事に応用出来ます。必要が無い時はテーピングしてショートしないようにして下さい。

■ 配線接続が終わってもリミッターは解除されていません。パソコンもしくはスマホでENIGMA操作ソフトと通信すると簡単に設定が出来て解除出来ます。

■ ENIGMA専用ソフトは当社ホームページより無料にてダウンロードできます。

<http://www.dilts-japan.com>

ENIGMA Type-P とアドレスV125K9/L0/V125SL0 (ECU) の接続方法 ブルートゥース版

取り付け作業は安全な場所で正しく行って下さい。基本的なアドレスV125の整備知識が必要です。
サービスマニュアルに従ってECUと配線が作業できるようにカウルなどを取り外して下さい。
ノーマル車両の前面カウルを取り外すと正面やや右下にECUが差し込まれて固定されています。

ECUに繋がっている26ピンコブラーを外し、配線を加工してENIGMA Type-Pを割り込みさせて下さい。
ENIGMA Type-Pは近くに取り付けてください。

コブラー側の配線にENIGMA Type-P配線を**割り込み接続**します。

(**割り込み接続とはノーマルの配線を切断せずに分岐する様に接続する事です**)

割り込み配線接続はエレクトロタップを使用しないで下さい。接続トラブルが多く

ENIGMA Type-Pの動作に問題が occurs します。(ハンダ付け等での作業が信頼性が向上します。)

●基本的にENIGMA Type-Pから出ている配線色と接続する車両の配線色は同じかもしくは近い色になっています。
下記の図を良く見て正しく接続して下さい。全部で9本です。

ムラサキ線はサービス出力線なのでECUには繋ぎません。

※ ECUの16番端子(赤/白)線は切断せず割り込みで接続してください。

※ 5番端子はオレンジ/黄線ですが、ENIGMA Type-Pのオレンジ線と接続してください。

※ O2センサーへ接続するECU13番端子(黒)線は、切断してECU側とENIGMA Type-Pを接続してください。

切断した車体側は他の線やフレームとショートしないよう絶縁処理してください。

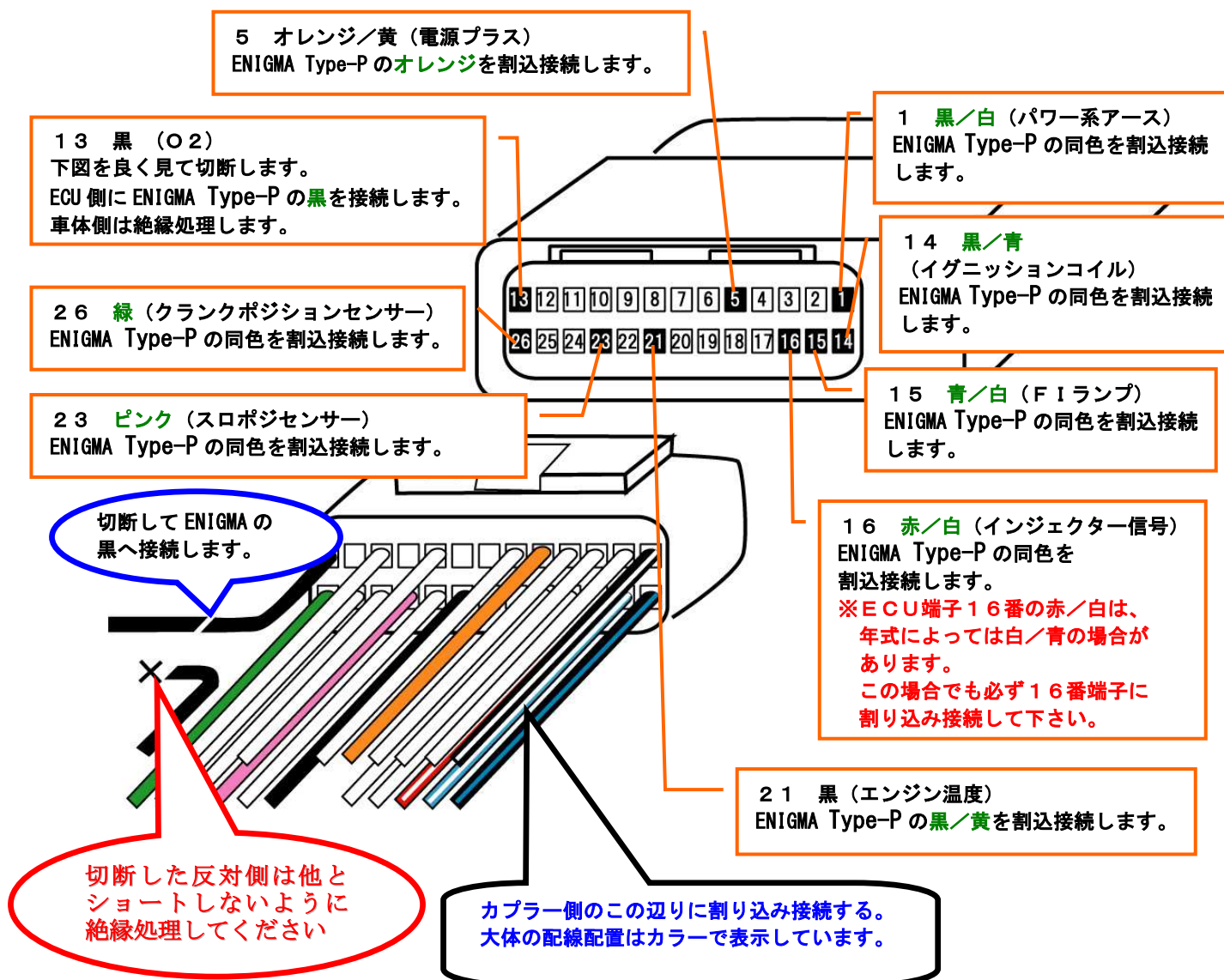
※ エンジン温度センサーへ接続するECU21番端子(黒)は、ENIGMA Type-Pの黒/黄線と接続してください。O2センサーへ接続する線も黒色ですので、間違えないよう注意してください。

※ **配線の根元からの水の入るのを防止するため、配線側を下にして設置してください。**

■アドレスV125K9/L0用ENIGMA Type-PにアドレスV125K5/K7は点火方式が違うため接続できません。また接続するとENIGMA Type-Pが壊れますので絶対に接続しないでください。

■アドレスV125用ENIGMA Type-Pではディスチャージインジェクターのため燃料の減量はできません。

- 下図を良く見て配線位置など間違わないように作業してください。



■ ECU 端子で繋ぐのは 1、5、13、14、15、16、21、23、26 の 9箇所です。上図で良くご確認下さい

■ ムラサキ線はサービス出力線です。ENIGMA はクランク 1 回転に 1 回、5V を出力します。市販の殆どのデジタルタコメーターなどに対応します。この線に繋がれば正確な値が表示される等色々な事に応用出来ます。必要が無い時はテーピングしてショートしないようにして下さい。

■ 配線接続が終わってもリミッターは解除されていません。パソコンもしくはスマホで ENIGMA 操作ソフトと通信すると簡単に設定が出来て解除出来ます。

■ ENIGMA 専用ソフトは当社ホームページより無料でダウンロードできます。

<http://www.dilts-japan.com>

ENIGMAとアドレスV125（ECU）の接続方法 USBバージョン

取り付け作業は安全な場所で正しく行って下さい。基本的なアドレスV125の整備知識が必要です。
 サービスマニュアルに従ってECUと配線が作業できるようにカウルなどを取り外してください。
 ノーマル車両の前面カウルを取り外すと正面やや右下にECUが差し込まれて固定されています。

ECUに繋がっている26ピンカプラーを外し、配線を加工してENIGMAを割り込みさせて下さい。
 ENIGMAは近くに取り付けてください。

カプラー側の配線にENIGMA配線を**割り込み接続します。**

（割り込み接続とはノーマルの配線を切断せずに分岐する様に接続する事です）

割り込み配線接続はエレクトロタップを使用しないで下さい。接続トラブルが多く

ENIGMAの動作に問題がおこります。（ハンダ付け等での作業が信頼性が向上します。）

●基本的にENIGMAから出ている配線色と接続する車両の配線色は同じかもしくは近い色になっています。
 下記の図を良く見て正しく接続して下さい。全部で6本です。

ムラサキ線はサービス出力線なのでECUには繋ぎません。

※ ECUの16番端子（赤／白）線は切断せず割り込みで接続して下さい。

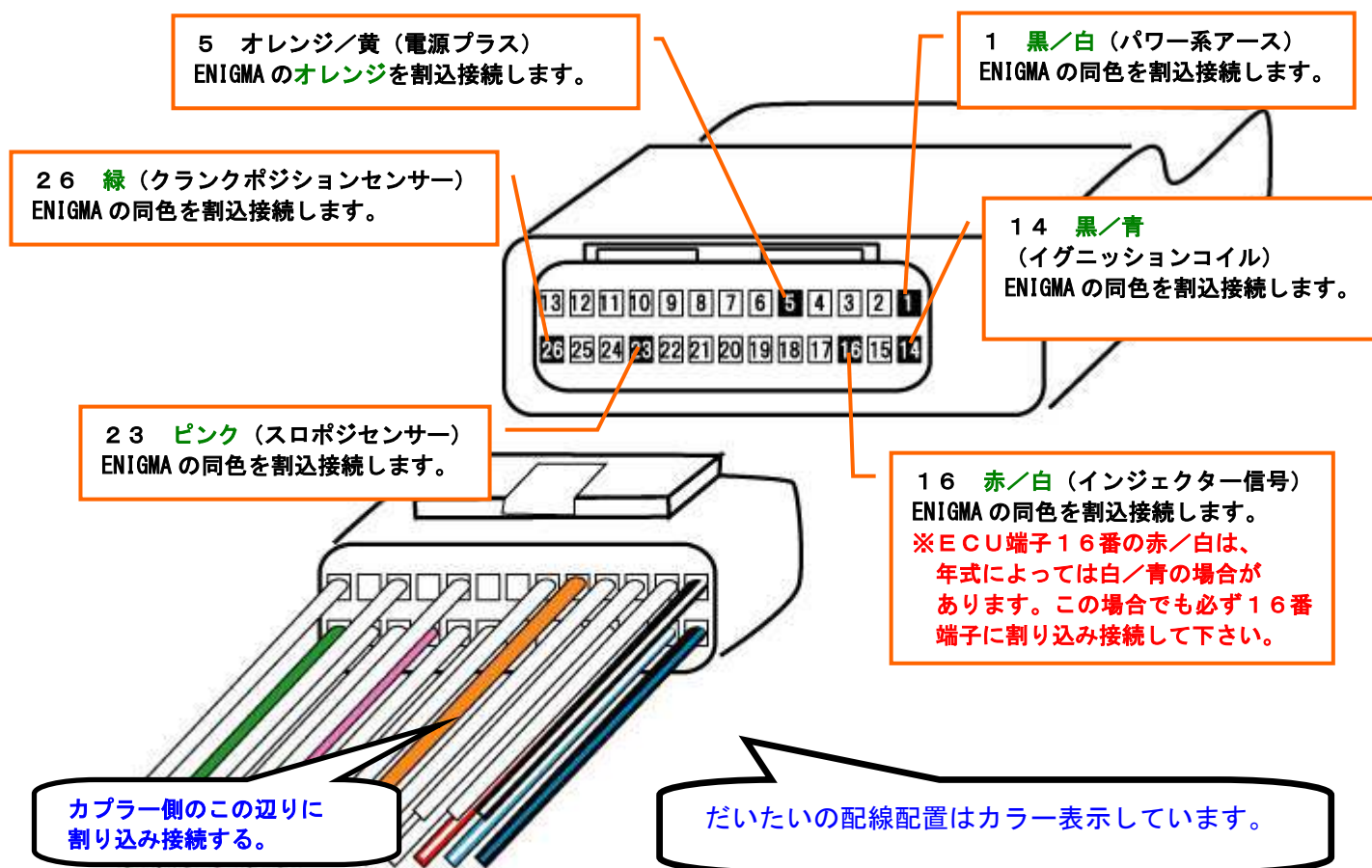
※ 5番端子はオレンジ／黄線ですが、ENIGMAのオレンジ線と接続して下さい。

※ **配線の根元からの水の入るのを防止するため、配線側を下にして設置して下さい。**

■アドレスV125K9／L0用ENIGMAにアドレスV125K5／K7は点火方式が異なるため接続できません。また接続するとENIGMAが壊れますので絶対に接続しないでください。

■アドレスV125用ENIGMAではディスチャージインジェクターのため燃料の減量はできません。

- 下図を良く見て配線位置など間違わないように作業してください。



■作業が完了したらパソコンとの接続を考えてUSBケーブルが繋げるようにENIGMA本体を設置して下さい。

■ムラサキ線はサービス出力線です。ENIGMAはクランク1回転に1回、5Vを出力します。市販の殆どのデジタルタコメーターなどに対応します。この線に繋がれば正確な値が表示される等色々な事に応用出来ます。必要が無い時はテーピングしてショートしないようにして下さい。

■配線接続が終わってもリミッターは解除されていません。パソコンもしくはスマホでENIGMA操作ソフトと通信すると簡単に設定が出来て解除出来ます。

■ENIGMA専用ソフトは当社ホームページより無料にてダウンロードできます。

<http://www.dilts-japan.com>